

私の将来の夢

道野 亜美

私は、将来「福祉」に携わる仕事に就きたいと思っています。きっかけは、私の母が福祉の仕事をしている姿を見たことです。小さい頃に、母が働いている職場に一緒に行ってそこで母が利用者の方に接する姿など家では違う母を見て、私も母のようになりたいと思ったからです。高校に入って、福祉の勉強をしました。福祉を勉強していく中で、自分が考えていた「介護」と学校でおそわる「介護」が全く異なっていることが分かりました。私が考えていた介護は、すべてのことを介護者が援助すると思っていました。でも、できることは利用者さん自身にやってもらうという残存機能を使うことが大切と知りました。またコミュニケーションの取り方や体位変換など、講義から実習まで多くのことを学びました。

私は、介護職員初任者研修を取得したいと思っています。資格をとるためにデイサービスに2日間、実習に行きました。実習では、学校では学べないことをたくさん知り、今まで経験したことがないことも体験することができました。実習の中で、職員さんが利用者さん一人一人に気を配っている姿を見たり、お風呂に入りたがらない利用者さんに説得したりしている姿を見て、介護は、入浴介助などの身体を支えるだけでなく、心理的なケアも介護のひとつなんだということを学ぶことができました。

今、私が学んでいることは「福祉」や「介護」の分野の一部だと思っています。これから、福祉についてもっと深く学んでいき、将来福祉に関する仕事に就いて、母のように、仕事ができるようになりたいです。